

あま市自殺対策関連事業 令和2年度取組結果及び令和3年度進捗状況

【資料4】

重点項目		主な関係課	令和2年度 取組結果 (コロナによる新たな取組み)	令和3年度 進捗状況	
① 関係機関等との連携・ネットワークの強化	1	関係機関等とのネットワークの構築・連携強化	健康推進課 社会福祉課 高齢福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ●全体で協議する「あま自殺対策ネットワーク会議」を11月に書面により実施した。 ●7月の民生児童委員協議会で、高齢者の実態把握による「こころの健康」に関するチラシの配布・相談先の周知予定であったが、コロナ禍により中止となる。 ●担当者が民生児童委員協議会に参加し、相談ケースがあれば対応できるような関係を構築した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●全体で協議する「あま自殺対策ネットワーク会議」を5月に開催予定だったが、新型コロナウイルスワクチン予防接種事業により2月に書面にて実施する。 ●担当者が民生児童委員協議会に参加し、相談ケースがあれば対応できるような関係を構築した。 ●地域の薬剤師会を通じて、市内調剤薬局にリーフレットの配置により、不眠やストレス等に関する正しい知識の普及啓発を依頼した。 ●自殺リスクの高いケースを通じて、生活状況や家族背景について、関係部局で情報共有し、連携の仕方や相談体制について検討していく。
	2	相談等を行っている関係団体等の活動支援	健康福祉まつりにおいて、精神障がい者の方への理解を深めるため、精神保健に係る医療機関や事業所の参加を勧める予定だったが、新型コロナウイルスにより中止となった。	●健康福祉まつりにおいて、精神障がい者の方への理解を深めるため、精神保健に係る医療機関や事業所の参加を勧める予定だったが、新型コロナウイルスにより中止となる。	
② 気づきのための人材育成	1	職員の資質の向上	健康推進課 社会福祉課 高齢福祉課 人事秘書課	<ul style="list-style-type: none"> ●新規採用職員等へのゲートキーパー養成講座について検討した。 ●保健師が自殺に関する研修会に積極的に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規採用職員等へのゲートキーパー養成講座を4月に実施した。 ●保健師が自殺に関する研修会に積極的に参加した。
	2	民生委員・児童委員等におけるゲートキーパーの養成講座	●愛知いのちの電話協会事務局長の兼田智彦氏を講師に、甚目寺地区民生児童委員等を対象に「ゲートキーパー養成講座」を予定したが、緊急事態宣言のため中止となった。	●社会福祉法人たんぽぽハウス施設長の兼田智彦氏を講師に、甚目寺地区民生児童委員等を対象に「ゲートキーパー養成講座」を3月開催予定。	

③ 市民への普及啓発	1	自殺に対する正しい理解の普及啓発	健康推進課 社会福祉課 高齢福祉課 社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> ●「あま市成人式」においてリーフレット約1,000部配布をし、自殺に関する正しい知識、相談窓口等の普及啓発を行った。 ●7月の民生児童委員協議会で、高齢者の実態把握による「こころの健康」に関するチラシの配布・相談先の周知予定であったが、コロナ禍により中止となる。 ●名鉄甚目寺駅で自殺防止街頭啓発を300人に実施した。 ●市民に対し知識の普及をはかるため、出前講座でテーマ「こころの健康について」を設けているが実施はなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「あま市成人式」においてリーフレットの約800部を配布し、自殺に関する正しい知識、相談窓口等の普及啓発を行った。 ●名鉄甚目寺駅で自殺防止街頭啓発を300人に3月8日に実施する予定。 ●市民に対し知識の普及をはかるため、出前講座でテーマ「こころの健康について」を設けている。
	2	アルコール問題に関する啓発		<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度の「健康福祉まつり」が中止となったため、アルコールパッチテストやアルコールに関する啓発方法について検討した。 ●母子健康手帳発行時に把握したアルコール摂取者に対し、指導・助言を行った。 ●11月広報で適正飲酒や酒害等に関する記事を掲載し、アルコールに関する正しい知識の啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●令和2年度「健康福祉まつり」が中止となったため、成人式会場の外でアルコールパッチテストを希望者約50名に試し、約150名にアルコールに関する啓発を実施した。 ●母子健康手帳発行時に把握したアルコール摂取者に対し、指導・助言を行っている。 ●11月広報で適正飲酒や酒害等に関する記事を掲載し、アルコールに関する正しい知識の啓発を実施した。

④ ハイリスク者に対するアプローチ・支援	1	市内精神医療機関との連携による相談事業の実施	健康推進課	<ul style="list-style-type: none"> ●市内精神科医による「精神保健相談会」1回実施した。 ●公認心理師による「こころの相談室」を月1回実施計画も利用者なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内精神科医による「精神保健相談会」で、事例検討会を実施した。 ●公認心理師による「こころの相談室」を月1回実施中にて現在2件実施。
	2	庁内相談窓口の充実・相談場所の周知	健康推進課 生涯学習課	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスの特別定額給付金の申請窓口において、相談窓口のチラシを配置した。 ●心の相談窓口のリーフレット(カードサイズ)を庁舎内トイレや手洗い場、社会福祉協議会貸付相談窓口等に配置した。 ●自殺者数の増加に伴い、市長によるユーチューブを利用した市民へのメッセージの配信を行った。 ●令和2年4月から「あま市子ども・若者相談窓口」を甚目寺公民館内に設置し、概ね15歳から39歳までの社会生活を営む上での困難を有する子供や若者を対象とした相談業務を実施する。また、相談窓口のチラシを広報6月号と一緒に各戸配布し、併せて関係課窓口配置して周知を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●心の相談窓口のリーフレット(カードサイズ)を庁舎内トイレや手洗い場、公民館等に配置し・設置個所を増やした。 ●「あま市子ども・若者相談窓口」を甚目寺公民館内に設置し、概ね15歳から39歳までの社会生活を営む上での困難を有する子供や若者を対象とした相談業務を継続して実施した。 ●相談窓口のチラシを庁内関係課窓口配置して周知を図った。 ●医師・看護師・保健師などによる24時間体制での電話相談「あま安心ダイヤル」の開設をした。 ●郵便局との包括連携に関する協定に基づき、市内設置のポストに「自殺予防啓発シール」を貼り、自殺防止と相談窓口の周知・啓発をした。

	3	うつ病の早期発見	健康推進課 社会福祉課 高齢福祉課 子育て支援課	<ul style="list-style-type: none"> ●こんにちは赤ちゃん訪問や健康教育の場において、うつ病や心の状態を把握するスクリーニングを実施し、うつ病等の早期発見・治療につながるように適切な情報提供や必要に応じた支援を行う。 ●こころの健康についてのアンケートを、介護予防教室やサロン等で実施する。 ●新型コロナウイルスの特別定額給付金の申請窓口保健師が立ち、チラシの配布等の対応を行った。 ●民生委員による高齢単身者の訪問時に、こころの健康に関するチラシを配布し、心配なケースについて保健師等につなげていただくよう依頼した。 ●コロナによる影響で自殺念慮を抱く人とその家族の支援等の個別ケースについて、生活困窮の相談員と保健師で情報共有を行い、本人・家族の継続支援を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ●こんにちは赤ちゃん訪問や健康教育の場において、うつ病や心の状態を把握するスクリーニングを実施し、うつ病等の早期発見・治療につながるように適切な情報提供や必要に応じた支援を行う。 ●こころの健康についてのアンケートを、介護予防教室やサロン等で実施する。 ●民生委員による高齢単身者の訪問時に、こころの健康に関する相談先の紹介をし、心配なケースについて保健師等につなげていただくよう依頼している。 ●コロナによる影響で自殺念慮を抱く人とその家族の支援等の個別ケースについて、生活困窮の相談員と保健師で情報共有を行い、本人・家族の継続支援を行った。
⑤ 児童生徒のSOSの出し方に関する教育	1	児童生徒のSOSの出し方に関する教育	健康推進課 学校教育課	<ul style="list-style-type: none"> ●市内小中学校のこころの健康づくりや、学校保健委員会の取組状況を把握し、養護教諭間での情報共有をはかった。 ●あま市の養護教諭部会に保健師が参加し、情報共有を行う予定であったが、コロナ感染拡大により中止となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●市内小中学校のこころの健康づくりや、学校保健委員会の取組状況を把握し、養護教諭間での情報共有をはかった。 ●あま市の養護教諭部会に保健師が参加し、自殺予防（いのち・こころ）教育の情報共有を行った。